

8 総合的な学習の時間の指導計画

総合主任

本校の教育スローガン「えがお いっぱい」
◎ 3つのえがお
やさしいえがお（命を尊び、思いやりあふれる子）
はじけるえがお（体を鍛え、力いっぱい励む子）
自信のえがお（深く考え、自ら学ぶ子）

＜総合的な学習でめざす姿＞
地域の自然や人々とのふれあいを通して、
① 自他の生命を尊重し、考えや生き方を学ぶ
② 自分のよさを認め、よりよく生きようとする
③ 郷土や国を愛し、郷土や国の未来について考える

本校の研究＜学習や生活に生きて働く「書く力」の育成＞
—「書写力」を基盤とした学力の向上を目指して—
・読みやすく書きやすい文字が書ける＜書写力＞
・文字のもつ意味を正確に理解し大切に書く＜語彙力＞
・目的や場面に合わせて書き分けることができる＜活用力＞

各学年の概要			3年	4年	5年	6年
系統性	「郷土」「環境」をキーワードに、3・4年は地域への広がり、5・6年は過去や未来への広がりを持たせた「ふるさと学習」「国際理解学習」である		郷土を知る	環境を考える	伝統を受け継ぐ	国文化・異文化理解を通して考える
過程	探究の過程	育てたい力・心	「とはなす山中～山中の一員としてできること」 （令和7年度）	「環境問題について知ろう」 （令和7年度）	「伝統芸能を受け継ぐ」 （令和7年度）	「世界の不思議発見」 （令和7年度）
時間	「岡崎市環境学習プログラム」は15時間程度の実施。教科の時間も利用できる		35時間（環境含む） （35時間は英語へ）	35時間（環境含む） （35時間は英語へ）	70時間（環境含む）	70時間（環境含む）
感じる力・心	■課題の設定 （体験的な活動を通して課題意識を持つ）	・問題発見能力 ・課題設定能力 ・感動する心 ・驚きや疑問を感じる心	「山中学区の探検をしよう」 ・自然 ・安全 ・防災 ・福祉 「山中学区の魅力は何だろう」	「山中学区から人が減ってしまったら山中学区はどうなるの？」 「山中学区が未来も残るために何が「できるの」	「自分の住んでいる町の自慢を発表しよう」 ・北山湿地 ・田んぼ ・扇子山 滝 ・神社 お祭り ・お店 ・昔話	「興味ある国についてインターネットで調べよう」 ・環境 ・気候 ・文化 ・衣食住 ・問題点
追究する力・心	■情報の収集 必要な情報を取り出したり、収集したりする）	・問題解決能力 ・思考力・判断力 ・情報収集能力 ・情報活用能力 ・情報分析能力 ・意思決定力 ・協同する力	「山中学区の魅力は何だろう」 ・山中学区の自然 ・山中学区の安全 ・山中学区の防災 ・山中小学校の魅力 ・山中学区の福祉	「住みよい環境を保護していくためにはどうしたらいいだろう」 ・山中の自然 ・山中の環境 ・環境保全 ・自然保護	「自分の町内の神社やお祭りを調べよう」 ・いつ・誰が・祭は？ ★デンデンガッサリ ⇒共通課題 「祭りの意味や受け継ぐ価値を考えよう」	「リトルワールド見学を通して民族文化を学ぼう」 ・世界各国の民族の暮らしの知恵 ・民族衣装を着て体験 ・日本と比較して「フラダンスを体験しよう」
	■整理・分析 取り出した情報を整理したり分析したりして考察する）	・他者を認める心 ・思いやりの心 ・自然を慈しむ心 ・異なる意見や他者を認める心	「たくさんのいきものが見つかったよ」 「たんさんの植物が見つかったよ」 「マップにしてまとめたらよくわかるよ」 「安全に学校に行けるのは、駐在所や見守り隊のおかげだね」	「ゴミが落ちているところがあるね」 「家の近くに自然がたくさんあるよ」 「たくさんの人に山中に来てもらうためにはどうすればいいかな」	「保存会もあるよ」 「話を聞こう」 「歌や所作を教えてもらい、体験しよう」 「祭りには深い意味があるんだな」 「ぼくたちが受け継いで、未来にのこしていきたいな」	「世界各国の民族の暮らしには、いろいろな工夫があるね」 「日本には、素晴らしい文化遺産がたくさんあるね」 「環境問題や貧困問題で生活するのが大変な国もあるよ」
表す力・心	■まとめ・表現 気付きや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する）	・コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力 ・表現力、実践力 ・メタ認知能力 ・感謝する心 ・自信と自尊心（自己肯定感）	・マップ作り 「山中小学校の魅力が伝わるマップを作ろう」 「全校のみんなにも教えてあげよう」 「みんなが暮らしやすい学区にしたいな」	「たくさんの人に伝えるように新聞にしよう」 「他の地域の人々にも知ってもらいたいな」 「環境保全活動をしてみたいな」	「集会で発表しよう」 「山中八幡宮で発表会をさせてもらおう」 「ポスターやパンフレットにまとめよう」 「4年生に伝えて伝統をつなげたい」	「身近な環境を大切にするために3Rを引き続き実行するよ」 「日常生活が大変な国に、自分たちがすることはないかな」 「自分が考えた方法を皆に呼び掛けよう」
岡崎市環境学習プログラムの実施 その他の活動			「岡崎市環境学習プログラム」は、いきもの調査と関連させて1学期に実施することがよい。温度計の使い方を1学期に学習するようにすると扱いやすい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、社会科と関連させて6月から実施。「ごみのしゅ理と利用」の学習でクリーンセンターへの見学を関連させて扱う。	「岡崎市環境学習プログラム」は、1学期に実施。ネイチャーテクノロジーに触れ、伝統芸能にも結び付けられるとよい。	「岡崎市環境学習プログラム」は、環境問題を「食」の面から考え、食品ロスやフードマイレージを学ぶ。SDGsと関連させるとよい。

＜実施上の留意事項＞

＜評価＞ ■自己評価カード ■相互評価 ■他者評価 （保護者の評価） ■日記 ■活動のようす	＜人・地域のつながり＞ ■地域の教材化 ■ゲストティーチャーの活用 ■保護者の協力 ■連携や交流 ・山中保育園 ・愛恵協会 等 ■家庭・地域への発信	＜教材のつながり＞ ■3年理科「しぜんのかんさつをしよう」との関連 ■4年社会「ごみのしゅ理と利用」との関連 ■書写の「生活に広げよう」を活用した表現 ■道徳や特別活動との連携 ■E S Dカレンダーの活用	＜態度のつながり＞ ■日常の学校生活へつなげる ■家庭での活動につなげる ■自分の生き方を見つめる ■地域の活動に広げる ■観察会・ボランティア活動等に参加する
--	--	--	---